

2013年5月27日 日本テレビ 定例記者会見**《 要旨 》****< 発表 >****・ 組織改正、人事異動、役員異動など**

6月1日付で、組織改正、人事異動を行う。一昨年までは、7月1日付で行っていたが、毎年4月の新年度スタートから出来るだけ早いタイミングに新体制を始動させることを狙いとして、この時期に行っている。また、役員の異動も発表した。

組織改正については、総務局の株式部を廃止し、その業務を総務部に移管。また、社内のIT環境整備を担当するIT推進部をメディア戦略局から技術統括局に移管する。この他コンテンツ事業局を事業局に、またライツ審査部を著作権契約部にそれぞれ名称を改めるほか、部の整理統合もいくつか行う。

今回の人事異動対象者の規模は35%程度で、この中には所属する部署の名称が変わった者も含まれる。昨年は80%程度であり、今年は昨年に比べて半分以下の規模に留めたことになる。管理職への新規登用者は34人。一番若い登用者は98年入社で、チーフプロデューサーになる。

役員については、常勤役員の片岡朋章取締役、小松伸生取締役、細川知正取締役最高顧問が退任する。代わって執行役員である石澤顕社長室長、菅原洋二営業局長、根岸豊明メディア戦略局長が新たに取締役となる。

・ 7days チャレンジTV

6月2日（日）から9日（日）まで、開局60年特別番組「7daysチャレンジTV～一緒に、未来貢献。～」を放送する。今回、取り組むテーマは「子どもたちに笑顔を運ぶ」。特別番組を中心に、ウッチャンナンチャンのナンチャンが出演する「ヒルナンデス」、TOKIO山口達也さん出演の「ZIP!」、NEWS 小山 慶一郎さん出演の「news every.」などの帯番組等、様々なレギュラー番組と連携し、未来に向けて“チャレンジ”する様子を連日放送していく。巨人戦ナイター中継の際には、巨人軍の選手たちが子供たちに対して行っている「社会貢献活動」を紹介することも予定している。

当番組には、開局60年を機に、メディアとしての責任を「未来貢献」という形で、全社一体となって果たしていきたいという思いを込めている。24時間テレビと同様に毎年テーマが変わるが、基本的に「未来貢献」を主軸に考え、社会的意義のある取り組みとして来

年以降も継続していく。

・BS 日テレ ベルト報道番組を編成決定

BS 日テレでは、今年 10 月より、毎週月曜日から金曜日まで午後 10 時からの 1 時間、生放送の報道番組を編成する。ゲストトーク、討論に加えてデイリーのニュースも扱うが、地上波と違うゆっくりとした時間の流れる BS の特性を活かして、社会の問題をより深く掘り下げ、じっくり考え、トークするスタイルで、地上波のニュース番組とは一線を画した番組を展開する。製作は日本テレビ。読売新聞編集局の全面協力も得られることで、多角的な視点に立った報道番組を目指す。

1. 視聴率動向と編成戦略

・週間「三冠王」獲得！

先週（5 月 20 日週）の視聴率は、三冠王を獲得。全日 7.3%。プライム 11.1%。ゴールデン 11.4%。

・4 月期改編

4 月期改編から 2 か月経過した。ゴールデン、プライムの新番組は「2 勝 3 分 1 敗」といえる。勝ち、前の番組よりも世帯視聴率が 2%以上アップした番組。負けは、2%以上ダウン。引き分けは、1%以内の上下で判断する。

2 勝は、3%近くアップし、全局の新バラエティー番組中トップの「幸せ！ボンビーガール」と、3%以上アップした「35 歳の高校生」。

3 分は、0.5%以上アップしている「笑神様は突然に…」と「有吉反省会」。そして、0.6%ダウンのドラマ「雲の階段」。

1 敗は、2.2%ダウンしている「赤丸！スクープ甲子園」。この番組に関しては、早期にテコ入れを行い、結果を出したい。

ゴールデン、プライム以外では、日曜朝の「シューイチ」を 30 分、前に拡大し、7 時半からの放送開始としたことで、視聴フローが改善され、非常に良い結果が出ている。「シューイチ」の世帯視聴率、コア視聴率は大きくアップし、4 月の月間平均世帯視聴率は 10.9%と、過去最高を更新。コア視聴率も歴代トップを更新している。「シューイチ」の前番組「所さんの目がテン！」についても、土曜夕方に放送していた時より視聴率がアップし、視聴の流れを良くしている。

土曜の夕方に関しましては、「宇宙兄弟」が予想したほど視聴率が上がっていないが、「名探偵コナン」や「満天☆青空レストラン」への影響は特にない。むしろ「満天☆青空レストラン」は、ここ3回は連続して2桁、直近では12%を超える高視聴率を獲得するなど安定している。

・7月期ドラマ「斉藤さん2」

7月期の土曜新ドラマには、2008年放送した「斉藤さん」の続編「斉藤さん2」。初回シリーズである「斉藤さん」は、幼稚園を舞台にしたドラマで、高い視聴率を獲得し、評判が良かった。

初回放送から5年が経過し、幼稚園だった子供が小学校に通っている時期に合致していることと、キャスティングとを合わせて検討し、「斉藤さん2」に決定した。

・長嶋茂雄&松井秀喜 W 国民栄誉賞！独占生中継スペシャル

5月5日、生中継で特別番組「長嶋茂雄&松井秀喜 W 国民栄誉賞！独占生中継スペシャル」を放送した。12.9%と日曜日の午後帯としては、高い視聴率だった。国民的なスポーツマンである長嶋茂雄さん、松井秀喜さんの国民栄誉賞授賞式を、巨人ファンのみならず多くの方々にご覧いただくことが出来、良い放送ができたと思う。

2. 営業状況と放送外収入

4月のネットタイムセールスは、前年上期比103.9%。ローカルタイムセールスも100.2%で前年を上回った。

単発番組では、「7days チャレンジ TV」のセールスが非常に順調に推移している。この時期に例年放送していた単発番組「eco ウィーク」のセールスと比較しても相当上回っている。また、今後の大型特番である「THE MUSIC DAYS 音楽のちから」「全国高等学校クイズ選手権」「24時間テレビ36 愛は地球を救う」等のセールスも開始している。

スポットは、4月の売上が前年比で95%程度だった。前年は一昨年の震災の影響からの反動でかなり大きく跳ね上がったため、昨年との比較では、どうしても100%割れしてしまう。しかし、4月のスポットシェアは前年から0.4ポイントアップしており、4月単月ではトップになることができた。スポンサー各社から、日本テレビの番組に高い評価をいただいていることに感謝している。

5月の見通しは、地区投下率が100%に届かない見通し。6月については5月よりは良い見込みであると聞いている。

・放送外収入

映画は、「藁の楯」「名探偵コナン」を上映中。「藁の楯」がカンヌのコンペティション部門の公式作品になった。残念ながら受賞を逃したが、興行にも大変良い影響が出ており、興行収入アップにつながっている。

イベント事業では、3月9日から森アーツセンターで開催していた「ミュシャ展」が5月19日に終わり、28万人を超えるたくさんの方々にご来場いただいた。

通販事業では、5月30日に台湾で40分枠の通販番組を放送する。この後も4回、台湾で放送する予定。なお、当番組は、弊社の関連企業である黒剣テレビと共に制作する。

海外事業では、フォーマット販売で人気の「マナーの虎」を、アメリカのABC系列局で放送したが、第4シーズンまでの放送が好評だったことを受け、第5シーズンの放送が決定した。今年の秋から現地で、毎週金曜日の夜21時からの1時間枠で、22話放送する予定。

3. その他

・東京スカイツリーへの送信所移転

昨年より、移転のための受信確認テスト等を行ってきた。5月28日には午前9時から午後7時まで、10時間の移転リハーサルを実施する。5月31日午前9時に移転することが決まったことを受け、最終的な準備をきちんと整え、視聴者の皆様にご迷惑をお掛けすることのないよう、テレビ局としての責任を果たしていく。

5月28日の移転リハーサル実施の際、視聴者の皆様からご連絡をいただいた場合には、すぐに工事クルーが駆け付け、即日対応する体制を整えている。スムーズに移転が実行できるように期待し、またご協力をお願いしたいと思っている。

(了)